

都市再生整備計画

にしあかしえきみなみちくだいかいへんこう
西明石駅南地区(第2回変更)

ひょうご あかしし
兵庫県 明石市

令和7年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	兵庫県	市町村名	あかし 明石市	地区名	にしあかしえきみなみ 西明石駅南地区	面積	28.3	ha
計画期間	令和5年度～令和9年度	交付期間	令和5年度～令和9年度					

目標
大目標：広域的な交通拠点のポテンシャルを活かした地域の生活拠点の形成 目標1：交通便利性の向上に伴う地区内人口の増加 目標2：まちなかの魅力向上に伴う賑わいの創出 目標3：暮らしやすい環境の創出
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) 明石市は、大部分が市街化区域となっており、良好な住宅地が形成され、公共交通ネットワークも充実しています。本市の人口は現在も増加が続いており、今後も市街化区域内の人口密度は高水準を維持していくと考えられます。しかし、全国的な傾向同様、本市においても高齢化が進行していくと予想され、都市機能、産業、地域コミュニティ、自治体運営などに大きな影響が出る可能性があります。さらには、近年激甚化する災害への対策は大きな課題であり、引き続き、洪水や津波、土砂災害への対策を行うとともに、今後発生が想定される南海トラフ巨大地震を見据えた安全、安心な市街地形成が求められています。 このような中、「明石市SDGs推進計画」の将来像及び「明石市都市計画マスタープラン」の将来都市像を実現するため、高齢化の進展や多様なライフスタイルの実現などの課題に対応しながら、現在の良好な住環境を維持し、誰もが便利で安心して暮らすことができる持続可能なまちづくりを進める必要があります。
まちづくりの経緯及び現況 明石市においては、「明石市SDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)」(2021年度改定)において、「いつまでも、すべての人に、やさしいまちを みんなで」を2030年のあるべきまちの姿として定め、明石のまちが住みやすいと思う人の割合100%を目指しています。まちづくりの方向性として、経済・社会・環境の三側面から方向性を定めておりますが、特に経済面において「にぎわいと活力が持続するまち」を目指し取組みを進めています。 西明石駅南地区について、市内唯一の新幹線停車駅という交通便利性と藤江～松江海岸など明石を代表する自然景観を有した魅力ある地域であるにも関わらず、駅周辺の安全性・利便性の低さ、南北のアクセスの悪さ、地域交流機能の不足、土地の低未利用などの課題があり、2011年(平成23年)度より地元自治会が中心となり、「西明石活性化プロジェクト協議会」を組織し検討が進められてきました。 また、JR神戸線の終着駅でもありJR関連施設も多く存在し、明石市とJR西日本とで所有地の活用や施設整備を一体的に行えば整備効果が高いことから、2020年(令和2年)にはJR西日本と「西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりに関する協定書」を締結し、具体の事業に向けた協力も行ってきたところです。 具体的に既に着手済みの事業として、南北のアクセス向上に向けた開かずの踏切(南畑踏切)の歩道橋化の工事は2024年(令和6年)春の完成を目指し実施中です。 今後は、駅南口に新たなバリアフリー改札・駅ビル・駅前広場を整備するとともに、当該駅前広場を中心としたアクセス道路の整備、またそこから徒歩圏内の場所への地域交流拠点の整備などをJRと協力しながら進める予定です。 なお、当地区は、「明石市都市計画マスタープラン」(2023年3月3月改定)においても、広域交通拠点としては活発な交流を育むまちづくりをすすめることとされており、「明石市立地適正化計画」(2023年3月策定)における都市機能誘導区域や、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画」(2023年3月改定)における移動円滑化促進地区に位置付けられていることから、今後は障害者・子ども・高齢者を含む全ての人にやさしいまちづくりを都市機能の整備含め、ハード・ソフト両面から進めていくことが求められています。
課題 ・駅南側からホームまでのバリアフリー経路が無いこと。 ・既存の地域交流拠点(サンライフ明石)の老朽化。 ・狭隘な駅前道路の改良による歩行者の安全確保とウォーカブルな空間創出。 ・JR神戸線及び山陽新幹線の二線の鉄道にまちが分断されたことによる南北のアクセスの悪さ。
将来ビジョン(中長期) ①明石SDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)(2021年度改定) 計画期間:2022～2030年度 ・経済面では安心の暮らしの向上を図るため、市民やまちの経済的な基盤が安定的に発展していることが重要であり、「賑わいと活力が持続するまち」を目指す ・社会面では、SDGsの理念である誰一人取り残さない社会を実現するため、「すべての人が助け合い安心して暮らせるまち」を目指す ・環境面では、安全で快適な暮らしを将来にわたり引き継げる「人にも自然にも地球にもやさしいまち」を目指す ②「明石市都市計画マスタープラン」(2023年3月3月改定) 【誰もが安全・安心に暮らせる、人にやさしい都市づくり】 ・地域住民や多種多様な主体がまちづくりに参画し、世代や分野を超えて繋がり合う共生社会(インクルーシブ)の創出を目指します。 ・ユニバーサルデザインに配慮した都市整備を行い、誰もが安全で快適に移動しやすく、暮らしやすい都市づくりを進めます。 【まちの魅力により活力と交流が持続する都市づくり】 ・教育、福祉、情報、就労など生活に必要な機能を有する施設の維持・管理や公共交通等によるアクセス性の維持・強化を行い、多種多様な世代が交流する拠点としての維持を図り、賑わいの創出を図る他、市内外との交流が盛んな都市の形成を目指します。 ※計画に位置づけられた西明石地域の目標※ 広域交通拠点としてのポテンシャルを活かした地域活性化、JR西明石駅南側の新たな改札設置や駅前広場、アクセス道路などの整備 等 ③「明石市立地適正化計画」(2023年3月3月策定) ※西明石駅南地区の都市機能誘導区域の位置づけ※ 今後予定されている駅ビル、駅前広場の整備や地域交流拠点(サンライフ明石)の建替により、広域的な交通拠点のポテンシャルを活かした地域の生活拠点の形成を進める。

都市構造再編集 中 支援事業の計画 ※都市構造再編集 中 支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 JR西日本が実施する駅ビル及び改札の整備にあわせ、駅前広場、駐輪場、アクセス道路(都市計画道路西明石駅南線)を整備することで、交通結節機能の強化を図る。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 西明石駅周辺地域では、JR西明石駅を拠点とし、西明石サービスコーナー、サンライフ明石(中高年労働者福祉センター)などが立地しており、商業・業務系の土地利用がなされています。今後、西明石地区の活性化において、駅ビル、駅前広場などの整備やサンライフ明石の建替が予定されており、広域的な交通拠点のポテンシャルを活かした地域の生活拠点の形成を進めます。							
居住誘導方針の考え方 ※居住誘導促進事業を活用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 居住誘導促進事業の該当なし。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 都市再生土地区画整理事業や都市・地域交通戦略推進事業の特例の該当なし。							
一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画 ※一体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォーカブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
滞在快適性等向上区域の考え方 該当なし							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口	百人	整備計画区域内の人口	JR西日本との共同による西明石地区活性化の取組みにより交通利便性の向上を図り、地区内の人口増加を図る。	41 百人	R3年度	50 百人	R9年度
地域交流施設の利用者数	千人／年	地域交流施設の来館者数(毎年集計値)	新たに整備する地域交流施設の利用者数の増加を図る。現行のサンライフ明石の利用者と、リニューアル後の地域交流施設の利用者との比較	74 千人／年	R3年度	81 千人／年	R9年度
住みやすいと思う人の割合 (西明石地域)	%	明石市 まちづくり市民意識調査(2～3年毎に実施)	居住環境の向上、満足度	93.5 %	R元年度	95.0 %	R9年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【広域交通拠点としてのJR西明石駅の利便性向上】 ・駅南側(特に南西部)からのアクセス確保のための環境整備		【基幹事業】(都市計画道路)西明石駅南線整備事業、藤江14号線整備事業、 【関連事業】JR新改札及び駅ビル整備事業、南畑歩道橋整備事業 自転車駐車場整備事業 【協定制度等】西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりに関する協定書
【多様な世代が集う交流拠点の創出】 ・老朽化した地域交流拠点のリニューアル ・従前から住む地元住民と転入した若年層や子育て層など、多様な世代・属性の方が集える拠点の創出		【基幹事業】(高次都市施設 地域交流拠点)(仮称)西明石地域交流センター整備事業 【協定制度等】西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりに関する協定書
【居心地が良く歩きたくなる空間づくり】 ・駅及び新たな地域交流拠点を中心にした歩行者空間の創出		【基幹事業】(高次都市施設 地域交流拠点)(仮称)西明石地域交流センター整備事業 【協定制度等】西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりに関する協定書
その他		
【その他官民協働の取り組み事例】 ・ボランティア・はなぞのによる地域支え合いの家運営 ・県・JR西日本・地元まちづくり協議会と協力し、新幹線コンコースの緑化を実施 ・地元商店街と連携した西明石グルメフェスの実施 ・市・JR西日本の共同により駅ホーム柵の設置(実施中) ・市・JR西日本の共同により南畑横断歩道橋整備による踏切除却(実施中) ・明石市協働のまちづくり推進条例に基づく地元まちづくり協議会による市と連携した取組 「西明石まつり」フリーマーケット、演舞など(児童クラブ、幼稚園、太極拳、よさこい、中学校吹奏楽、フラダンス、バントワリング、阿波踊り) 「駅前イルミネーション」駅前広場ロータリーの電飾 「花壇植え替え」駅前広場花壇の植え替え 「こども夢文庫」図書館から遠く、賑わいが必要な場所に設置し、図書の貸し出しや本の読み聞かせなどを行い、地域の子育てを支援 「はなぞの公園」放課後の子供たちが安心して遊べる場所(広場)として市有地を借り受け開放(見守りあり) 【道路事業による効果】 ・西明石駅に新設される改札口へのアクセス道路となるため、駅方面への利用者(歩行者・自転車・自動車)の安全な動線を確保できる。		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	6,266.7	交付限度額	3,133.3	国費率	0.5
---------	---------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業 細項目		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		西明石駅南線	明石市	直	440m	5	11	5	9	3,345.4	2,925.4	2,925.4		2,925.4	—
道路		藤江14号線	明石市	直	200m	5	11	5	9	431.3	331.3	331.3		331.3	—
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設															
高次都市施設 地域交流センター		(仮称)西明石地域交流センター	明石市	直	1棟	5	8	5	8	3,877.0	3,208.0	3,208.0		3,000.0	—
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
合計										7,653.7	6,464.7	6,464.7	0.0	6,256.7	—

…A

事業 細項目		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業														
事業活用 調査	事業活用調査	西明石駅南地区	明石市	直	一式	9	9	9	9	10	10			10
まちづくり活 動推進事業														
合計										10	10	0	0	10

…B

事業 細項目		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
居住誘導促進事業														
合計										0	0	0	0	0

…C

合計(A+B+C) 6,266.7

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
					/	/	/	/			
					/	/	/	/			
合計					/	/	/	/			0

(参考) 関連事業

[illegible]

0 50 100 200 300 400 500メートル

凡例

- 都市再生整備区域
- 都市機能誘導区域
- 国
- 鉄道(J)

西明石駅南地区(第2回変更)(兵庫県明石市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	広域的な交通拠点のポテンシャルを活かした地域の生活拠点の形成を進める	代表的な指標	地区内人口	(百人)	41	(令和3年度)	→	50	(令和9年度)
	目標1: 交通利便性の向上に伴う地区内人口の増加		地域交流施設の利用者数	(千人/年)	74	(令和3年度)	→	81	(令和9年度)
	目標2: まちなかの魅力向上に伴う賑わいの創出		住みやすいと思う人の割合	(%)	93.5	(令和元年度)	→	95.0	(令和9年度)
	目標3: 暮らしやすい環境の創造								

人口: 30.4万人(令和4年4月時点)

○関連事業
南畑踏切安全対策事業○関連事業
自転車駐車場整備事業
(仮称)西明石駅南口

山陽新幹線JR西明石駅

西明石駅

JR西明石駅

西明石駅南口

○関連事業
令和4年度官民連携による
地域活性化のための基
盤整備推進支援調査□提案事業(事業活用調査)
事業活用調査■基幹事業(道路)
西明石駅南線道路整備事業
(駅前広場の整備を含む)■基幹事業(道路)
藤江14号線整備事業■基幹事業(高次都市施設)
(仮称)西明石地域交流センター
整備事業

凡 例

■ 基幹事業
□ 提案事業
○ 関連事業

— 都市再生整備計画の区域
— 都市機能誘導区域
— 居住誘導区域(地図内全域)

0 500m

R5.3時点

周辺図

